

## 特色ある食育実践事例

市町村名：一関市
学校名：一関市立猿沢小学校
担当者名：細川 彩子

### 【 文部科学省の委嘱を受け、食育に取り組んでいる事例 】

教科名等	特別活動 (学級指導)				
単元名等	すききらいしないでたべよう (牛乳)				
取組学年	1	取組時期	6月	毎年実施の有無	無
取組内容	<p>「好き嫌いをなくバランスの取れた食事の取り方や栄養についての理解を深め、健康を保持増進しようとする態度を育てる」実践</p> <p>1 実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を毎日喜んで食べる子どもが多いなか、嫌いなものを残す児童が多い。特に、牛乳と野菜を残す子が目立つ。そこで、牛乳について学び、少しでも残さないようにさせたいと考えた。</li> </ul> <p>2 指導の内容</p> <p>(1) 課題を確かめる。</p> <p style="padding-left: 40px;">「きゅうしょくにまいにちぎゅうにゆうがでるのは、どうしてだろう？」</p> <p>(2) 牛乳にカルシウムが含まれる働きについて知る。</p> <p>(3) カルシウムは毎日取ることが大切であることを知る。</p> <p>(4) 牛乳ができるまでの紙芝居を見る。</p> <p>(5) 気づいたことや感想を発表する。</p> <p>3 指導で留意した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カルシウムの働きをよくわからせるために、歯や骨の模型をつかった。</li> <li>・牛乳が届くまで多くの人たちが関わっていることと、牛乳の栄養について、児童に分かるように、紙芝居を自作した。</li> <li>・牛乳が作られることについて、1年児童の家庭を訪問し、世話をしている祖父や祖母の話を聞き取材をしてきた。</li> </ul> <p>4 指導後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚で教えたことは、理解にやくだったし、残さないようにしようという意欲付けになった。</li> </ul>				
本取組を行っている理由	<p>児童の好き嫌いを解消するひとつの方法として、また、食べ物は、多くの人の苦勞があることをわからせ、感謝の気持ちを持たせるため。</p>				

